

優秀賞3 (いのっち さん)

いつ・どこで

2023年の6月、近所のスーパーで。

エピソード本文

子どもが急な発熱のため、保育園からお昼前に早退の連絡がきて、迎えに行きました。

主人は職場が遠く、21時ごろにしか帰宅しない、かつ、家に病気の子どもが食べそうな食材がなかったため、イオン系ドリンクやおうどんなどをかうために、保育園にお迎えに行き、家に帰るまでの途中にスーパーに寄りました。

店内ではカートに乗ってくれ、無事買い物をすませたのですが、カートを返却し、お店をでて駐輪場に向かおうとした時、「抱っこがいい」と子どもが泣きはじめました。

両手は買ったものと、保育園バッグで埋まっていたが、子供を無理やり抱っこして駐輪場まで向かおうとした時、お店を出ようとしていた60代くらいの女性が、「駐輪場に行くの？私も行くから、よければ荷物をもつので、お子さんを抱っこしてね。」と声をかけて頂き、荷物を自転車のところまで運んでくださりました。

駐輪場までの距離は50mほどですが、そのお心遣いが本当に嬉しかったです。

その時に感じたこと

初めての子どもと2人のバス移動で、他の方に迷惑かけないか、子どもがぐずらないかなど不安な気持ちでいっぱいでしたが、思いがけない周りの方々の優しさに触れ、胸がいっぱいになりジーンとなりました。自分の子育てが終わっても私もそうやって周りに困っている方がいたら手助けをしたいなと思わされました。